

第2号報告 平成29年度事業計画及び収支予算書の件

1. 平成29年度事業計画策定にあたって

平成22年度以降、東日本大震災の影響・補助金の大幅カット・入学対象者の減少など協会（学園）を取り巻く環境は大変厳しい状況にあり、平成25年度に企画戦略会議を設置し、その答申などを受けて「自立運営」を目指すこととしました。

その後、平成25年に公益法人としての認可、平成27年に認定農業者としての認可を受けるとともに、事業・資産・要員などの見直し・改善に着手している。

平成29年度は自立運営の「基盤づくり最重要年」とし、下記の「基本方針」「実施具体策」で取組みを更に強化する。

2. 基本方針

- (1) 教育事業の強化（含む学生募集の強化）
- (2) 認定農業者の認定を受け、新たな体制の構築。
- (3) 農場生産・販路販売の拡大・強化
- (4) 他校、行政との連携強化
- (5) 資産の有効活用（運営資金対策の実施）
 - ア. 資金調達
 - イ. 定款変更の検討
- (6) 情報発信力の強化(含む90周年事業の成功)

3. 実施具体策

(1) 諸行事の実施

- | | |
|------------|----------------|
| 第1回理事会 | 平成29年5月30日（火） |
| 定期総会 | 平成29年6月17日（土） |
| 創立90周年記念事業 | 平成29年10月14日（土） |
| 第2回理事会 | 平成30年3月上旬 |

(2) 教育関係

①学生教育内容の充実

「教育改善計画」（技術習得支援事業）に基づく教育内容の改善（昨年同様、三か年の第三期）

- ・大規模農業に対応した教育の実施
- ・農業機械操作教育の充実
- ・GAP教育の充実
- ・農業IT化への対応

②研修生教育内容の充実

- a.全国農業会議所からの研修参加（1週間～3か月）：入学に結び付けるようフォローを行う。
- b.就農準備校：昨年に引き続き「農業入門」「有機農業」コースを実施。
- c.国際農業者交流協会の研修、子どもたちの農業体験の実施。

③学生募集の強化

学園HP、フェイスブック（本年度より）と学校見学会に重点を置いた募集活動とする（学園HP、フェイスブックは内省）。また、教育内容・学費・農場実践との関係を検討するため、「教育強化研究会」を新たに設置する。

④就農支援、卒業後フォロー体制の強化

a. 青年就農給付金を軸にした就農相談を継続して実施し、就農率アップを図る。

茨城県農林振興公社との連携強化。

b. 卒業生のリサーチを行い、ネットワークの構築により、在校生の就農および学生募集への効果を狙う。

c. 自治体との協定に基づく活動

新規就農者育成の連携協定に基づき、地域見学会や就農相談会を行う予定。

水戸市、茨城町、城里町

⑤寮生活の改善

建物の老朽化により生活環境が徐々に悪化している。特に男子寮と男子浴室が傷んでいる。改善が必要。

（3）農場関係

①契約栽培の強化

葉菜（小松菜）を中心とした契約栽培をさらに拡大。今年中にハウス10棟まで規模拡大を目指す。

②付加価値ある生産物の拡大

牧草地を2ha削減し、甘藷の作付を拡大し付加価値の高い「干しイモ」を生産・拡販する。

また、昨年の甘藷・人参に続き葱を50a作付し出荷予定。農場収入と教育両面での効果を狙う。

③養牛部門の改善

平成28年度は乳牛24頭を売却。代わりに肉牛の繁殖を養牛のメインに据える。

繁殖牛の親牛が揃うまで収入が落ち込むので、当面の収入確保のため乳牛は14頭体制を維持。

繁殖牛の親牛は現在15頭。自然増頭により25頭まで増やす。

④養豚の受託肥育の見直し

鈴木牧場との取引による、豚の受託肥育事業は、提供される子豚に罹病が多く歩留まりが悪い。

本年度は契約の最終年度なので、次年度以降継続かどうか検討が必要。クラスター事業の活用を検討したが、定款の問題で頓挫している。

⑤直売所運営の見直し

販路・販売強化会議を発足。直売所改革を所得増加のけん引役とみなし、強力で押し進めていく。チラシ拡大・カンバン設置・イベント（朝市・スクール）などと併せて売り場面積の拡充を検討する。

(4) 施設・機械の維持・改修

- a. 視聴覚教室はエアコン設置を検討中。その他の教室、体育館など教育関連施設は現状維持で問題なし。
- b. 寮関連は風呂、電気配線、井戸給水ポンプなどが老朽化。順次改修を図る
- c. 農業施設関連
 - ・ 製茶工場・・・契約栽培野菜用調製施設として既に稼働している。
 - ・ 水耕ハウス・・・チラーをはじめ施設老朽化によるトラブルが発生中。今後継続のための投資を予定。
 - ・ 水田・・・配水管のメンテナンスが課題。乾燥機、コンバインなど経年劣化が懸念される。
 - ・ 養牛・・・デントコーンの作付を減少させる方向（野菜の畑に振り向ける）。飼料その他経費を精査し経費削減を実施する。
 - ・ 堆肥舎・・・平成29年5月頃に改修工事を予定（200万）。

(5) 創立90周年記念事業

平成29年10月14日(土)に創立90周年記念事業を実施し、事業方針の実現に向けた学園のPR、学生募集を目的としたDVD作成、販売拡大を目的とした直売所の改善を図る。

＊創立90周年記念事業の概要：別紙のとおり

(6) 情報発信力の強化

ホームページの充実、DVDの作成・活用、同窓会機関紙の継続発行を図るとともに、役員間の連携強化のための役員ニュースの配信を継続し、賛助会員の拡大とあわせて同窓会（仲間）の支援・連携を促進する。

(7) 資金調達の検討・実施

本協会所有の60畝の土地のうち、売却可能な土地の有効利用を検討・実施し重点事項達成を促進する。

以上